

案件概要書

2019 年 4 月 23 日

1. 基本情報

- (1) 国名:ガイアナ
- (2) 案件名:課題別研修「カリコム諸国における持続可能な廃棄物管理」
- (3) 参加者:ガイアナ防衛軍の予備軍登録者1名を含む11名
- (4) 計画の要約:
カリコム諸国が抱える廃棄物分野の諸問題の解決と、必要な地域間の協力の促進を目的とし、沖縄で実施されている持続可能な廃棄物管理の手法や、効果的な廃棄物の適正処理方法に関する講義・実習を行う研修。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義
本研修の対象主体であるガイアナ防衛軍の予備軍登録者については、通常は埋立処分場監督官として、廃棄物処理施設の監督を本来の業務としている。また、ガイアナ防衛軍予備軍に大佐（エンジニア）として登録されているものの、軍籍を保有しておらず、予備軍における業務は、災害時等の非常時にガイアナ防衛軍からの要請の下、災害救援活動等を行うものであり、右業務は民生目的である。
また、経済・社会開発に向けた取組への支援は、二国間関係に加え、カリコムとの関係の強化に資するものであり外交的意義は大きい。
- (2) 当該国における環境セクターの現状・課題及び本計画の位置付け
「対ガイアナ共和国 国別援助方針」(2013年3月)にて、ガイアナに対する我が国支援の重点分野(中目標)の一つに、環境分野が含まれており、都市の環境保全を推進する観点から、3R(廃棄物の発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル))推進を含めた廃棄物管理分野への支援を行うこととしている。本研修はその一環であり、ガイアナが環境問題に適切に対応していくための支援として重要である。

3. 計画概要

- (1) 計画概要:
本研修は、人口が少ないためスケールメリットが働かないことや、市場が遠方に所在することから輸送コストがかさむなどといった、リサイクル事業が成立しにくいカリコム諸国の諸問題を改善するために、沖縄で実施されている持続可能な廃棄物管理の手法や、効果的な廃棄物の適正処理方法などに関する講義、実習を行うもので、本研修を通じて、参加者の技術力、ファシリテーション能力と課題解決能力を向上させることを目的としている。
- (2) その他特記事項:
特になし。

以 上